



KCJS ニュースレター

2016年 秋学期 第11号



<http://www.kcjs.jp/>

お勧めの店 in 錦市場

エリン・ガレガー(ペンシルバニア大学)

錦市場の中に、お茶と湯飲みの店があります。この店の名前は「宇治屋」です。宇治屋は錦市場の西側にあります。錦市場のほかの店より間口が広いだけでなく、店の中も広いのでびっくりしました。宇治屋は日本の伝統的なお茶と湯飲みを売っています。京都の人もよく買いに来ますが、一方で店員さんは「観光客が一番多いお客様だ」と言いました。観光客として、私も美しい湯飲みを買いました。小さくて赤い花の絵があります。お茶は買わなかったけれども、たくさんおいしい味のお茶がありました。

この店は九十年前から錦市場にあります。大きい店です。かといって、五人しかこの店ではたらいっていません。忙しい時は、店員さんは多分つかれるでしょう。宇治屋の一番忙しい季節は秋と春です。春と秋はあまり暑くないので、たくさん観光客と京都の人がこの店に来るそうです。

店員さんは「一番人気がある物は湯飲みだ」と言っていました。それは、この店の湯飲みは美しい上、とても安いからです。錦市場に行って、この店の前を通った時、湯飲みをとても買いたくなりました。

宇治屋は大きい上に美しい店です。湯飲みとおいしいお茶を売っています。錦市場に行ったとき、この店に行ってみてください！



能楽ワークショップ

ニコル・フレット(ハーバード大学)



能は日本以外で見つからないほど、特別な伝統的な芸術だと思います。だから、誰かがつまらないなどと思ったとしても、最低一回は見ただ方がいいと思います。私の意見では、能をよく見に行く人も、演奏する人も、その存在意義を考える事を

大切にしている人が多いと思います。能を見に行く時は、普通に見たり、考えたり、想像したりすればいいと言われました。確かに能を見に行き寝てしまう人もいますが、能の先生方によると、それも大丈夫だそうです。ですが、何年間も囃子方(hayashi instrumentalists)として演奏しているプロから、能の主人公のシテ方まで、能においては、皆の役割が大切で、意味があると思いますから、寝る前になぜその人がそんな動きをしているのか、その上、どんな役割を持っているのか考えてください。そうすれば、日本の文化を経験できると思います。



お神輿

アレクサンダー・ホール(シカゴ大学)



日本の祭りと言えば、もちろんお神輿が思い浮かぶだろう。10月、僕はお神輿を担いで、日本の伝統文化を実際に経験した。僕は身長が190cmもあるので、他の参加者と同じ高さになるため、少ししゃがみながら担いだ。そのため、足も腰も痛かった。しかし、記憶に残っているのは痛みより、その日に会った人が極めて親切だったことだ。お神輿を担ぎながら町を歩き、色々な場所で休憩した。養護老人ホームの前や近所の公園などで休憩をとると、その近くに住んでいる人がお茶やおやつを出してくれた。そして、お茶を飲みながら休んでいると、他の祭りの参加者が話しかけてくれた。どうやってタオルを肩に載せるとあざができないかの助言をしてくれたり、留学の経験について質問してくれた。そういった会話のおかげで、僕のお神輿の体験はとても楽しかった。

資料館ボランティア

アンナ・ケリー(ボストン大学)

今学期、CIPとして京都工芸繊維大学の資料館でボランティアをしている。CIPというのは、学校の外で日本人のグループに入って、日本語を練習したり、日本文化を勉強したりできるプログラムのことだ。私は美術に興味があるから、資料館でのボランティアを選んだ。資料館では色々な仕事をするように頼まれるが、その内容は日によって違う。古いラジオを撮影するのを手伝ったり、古い芸術の本のデータを入力したり、展覧会の準備をしたりしたことがある。仕事は全部おもしろいが、一番おもしろいのは芸術の本に関係があることだと思う。なぜなら、日本語を読むいい練習になって、おもしろい旧漢字をたくさん習う機会だからだ。この資料館で働けてよかった。KCJSと京都工芸繊維大学の資料館に感謝をしたい。

私の京都のホストファミリー

アイザック・ジェマリータ(シカゴ大学)

私のホストファミリーは薄井信子というお母さんです。一緒に松尾大社の駅の近くに住んでいます。プリンという犬もいます。時々、お母さんの娘さんのご家族と遊びます。9月のある週末に、娘さんのご家族と他の日本人のご家族とキャンプをしました。あまり話は分からなかったけど、ほんまに楽しかったです。もちろん、お母さんとのいろいろな楽しい経験もあります。例えば、嵐山のお祭りに行きました。そのお祭りで舟

松竹撮影所のツアー

ジョージ・チェン(イエール大学)

先日、僕は「映画の文化」の授業で級友たちと松竹撮影所へ見学に行った。映画村のような江戸時代の小さい町のセットや、色々な工場のようなスタジオがあった。そのスタジオ内には、建設中の時代劇のセットがあって、家の内部や大阪城の部分までも作っていた。

この撮影所は日本で最も伝統的な技術をまだ使っているようだ。例えば、現代の電動のスタジオのプラットホームのようではなくて、松竹のスタジオは木の梯子と橋のようなものを使っているようだ。その橋は、船と呼ばれていて、そこから照明と音声を調整することができる。

松竹撮影所は本当に素晴らしかった。その上に、色々な役者(有名ではなかったが)も見ることができたので、松竹のツアーは楽しかった。

iCeMS ボランティア

ローリー・ワン(イエール大学)

この10週間、私は京都大学のiCeMS科学コミュニケーショングループでボランティアとして働いてきました。iCeMSのホームページとパンフレットを翻訳しました。また、10月の終わりにiCeMSのサイエンス・カフェにも参加しました。iCeMSサイエンスカフェというのは市民の皆さんと科学者がでコーヒーやお茶などを飲みながら、科学について語り合う場です。このイベントで写真を撮ったり、お茶や和菓子をあげたり、他のiCeMSのスタッフのお手伝いをしたりして、ちょっと役に立てたと感じて嬉しくなりました。だいたいiCeMSのオフィスは、真面目な雰囲気ですけれども、時々休みの時間にみんな写真を見せ合ったり、レシピを交換し合ったりします。iCeMSでのCIPのおかげで、翻訳作業だけではなく、日本の職場の文化も経験できてよかったです。

CIPとは

学生たちが、ボランティア等を通じて、日本の地域社会とつながりを持つプロジェクト。それぞれが興味を持っている活動を選んで参加する。

に乗ることができました。お母さんと舟に乗りながら素敵な景色を見ました。伝統的な日本の音楽も聞こえました。舟に乗っている時、他の舟が私たちの舟の近くに来ておいしい食べ物を買りました。凄くおいしい蛸を食べました。それはとても楽しい経験でした。

岡山旅行

ホルヘ・ゴメス(ボードウィン大学)



今学期、KCJSの学生は岡山を訪問する機会があった。我々は岡山の高校生と交流して、ホストファミリーに泊まった。岡山で現地の生活を実際に体験し、日本語だけでなく文化にもたくさん触れることができた。私は三日間岡山にいたが、岡山のホストファミリーと一緒に後樂園へ行ったり、家で一緒に焼肉を食べたり、太鼓のパフォーマンスを見たりした。全ては素晴らしかった。最後の日に、私のホストファミリーの妹が箸置きをくれた。そして、お母さんとお父さんが私の名前が書かれているお箸をくれた。私はとても幸せだった。岡山でホストファミリーと過ごした特別な三日間を、私は絶対に忘れないだろう。

日本語の授業

ジェミー・クレイバン(ボストン大学)

一学期という短い間に、文法や漢字や会話といった色々なことを全て覚えるのは難しいかもしれませんが、KCJSでは先生達の教え方のおかげで、とても覚えやすいです。毎週同じスケジュールで勉強します。つまり、月曜日はこれ、火曜日はこれというように、決まっているということです。そんなリズムがあれば、スケジュールについて考えなくてもよく、授業の内容の方に集中出来ます。さらに、それぞれの内容は他の日の内容と混ざっています。月曜日は読み物を読みながら、そこに出てくる文法の表現も覚え始めます。そして、火曜日は表現の勉強をしながら、読み物からの例を使います。気づかないうちに、それぞれの学習項目の関係がだんだん覚えられます。だから、KCJSの授業では、早く自然に日本語を覚えることが出来ます。

今学期から多読の授業を始めました!!



東福寺と新熊野神社

ローレン・レヴィン(コーネル大学)



今、私の日本語の授業で、京都女子大学の学生と東福寺と新熊野神社についての協働のプロジェクトをしている。11月22日に私と私の日本語の授業のクラスメートは京都女子大学の三人の学生さんと東福寺と新熊野神社に行った。その遠足はとても面白くて楽しかった。東福寺の紅葉はすごくきれいで、私たちはレポートのためにたくさん美しい写真を撮れた。ガイド付きツアーをしていただいたから、東福寺と新熊野神社の歴史的な魅力についてよく学べた。その上、禅と神道についても少し教えてもらった。日本人の学生と日本の文化について学んで、いい経験ができてよかった。11月29日の合同授業で、京都女子大学の学生とレポートを書くのを楽しみにしている。

ランゲージパートナー

フランチェスカ・神尾(タフツ大学)

ある週の週末、私とLanguage Exchange Partnerの絢子と一緒に伏見稲荷大社に行った。いつもは、毎週木曜日にランチで会うけど、今週は、私達は新しいことをしたかったのだ。私達は、まだ伏見稲荷大社に行ったことがないということに気がついたから、伏見稲荷大社に行くことにした。日曜日に11時ごろに駅に着くと、もうとても込んでいた。しかし、稲荷山に登り始めると、どんどん他の観光客が減ってきて、歩きながら話せるようになった。ハイキングはちょっと大変だったけど、絢子と本当に楽しい時間が過ごせた。

来月、一緒にジャズフェスティバルに行く予定になっていて、それも楽しみにしている。



KCJS28 写真コンテスト おめでとうございます!!

“The Dynamic Trio of Heritage Tourism”
マイケル・マウアー 平安神宮にて撮影



“Modern Kyoto”
ニコル・フレット 清水寺にて撮影



KCJS28 秋学期 学生賞 中間投票結果

学生たちによる中間投票の結果、以下の学生が現時点で1位から3位に選ばれています。
学期末の本投票で選ばれた人には、賞金が出ます。

①日本語でがんばっているで賞

ニコル・フレットさん、アイザック・ジェマリタさん、
アレクサンダー・ホールさん、ユーペイ・グオさん、
ローリー・ワンさん

②KCJSの外でがんばっているで賞

ザッカーリー・チャップマンさん、アレン・チェングさん
ユーペイ・グオさん、マイケル・マウアーさん、
マイラ・モンレールさん、エリザベス・スミスさん

先輩達の活躍

《JET プログラム》

青森 ディーン・ニュエンさん (KCJS26 春 ポストン大学)
静岡 エリザベス・ムリヨさん (KCJS26 通年 ウェズリー大学)
千葉 リード・トミハラさん (KCJS26 春 ポストン大学)
千葉 アンドリュー・ケーザマンさん (KCJS26 秋 マカレスター大学)
兵庫 ヘイリー・ボルクさん (KCJS26 通年 バーナード大学)
兵庫 ジャクリン・大城さん (KCJS26 通年 シカゴ大学)
和歌山 ジョン・ライオンズさん (KCJS26 通年 ハミルトン大学)
京丹後 (CIR) フィービー・ホーガンさん (KCJS26 春 ポストン大学)
長崎 ディラン・マニングさん (KCJS26 秋 ヴァッサー大学)
熊本 (CIR) ジェラミー・チェンさん (KCJS26 秋 タフツ大学)
鹿児島 テイラー・バーテルズさん (KCJS26 春 ポストン大学)



《日本語能力試験1級合格》

ニコール・ベルトツツイさん (KCJS27 通年 シカゴ大学)
張韻さん (KCJS27 通年 ポストン大学)
王月瑋さん (KCJS27 通年 ブリンマー大学)

《日本語能力試験3級合格》

フィービー・ホーガンさん
(KCJS26 春 ポストン大学)

《近況報告》

マシュー・サバンさん (KCJS20 通年 ブランディーズ大学) と ケイ・カミオさん (KCJS20 通年 ポストン大学)
結婚して子どもが1人います。ニューヨーク市在住。
パトリック・マニアンさん (KCJS21 秋 ポストン大学)
ニューヨーク市で仕事をしています。合気道、瞑想を続けています。
ナオミ・コーミエさん (KCJS26 秋 ウェズリー大学)
サントリーに就職、東京で仕事をしています。
ロザリー・ガイさん (KCJS26 通年 シカゴ大学)

Institution for a Global Society × Z-kai で英語を教えています。

